

障害年金制度の運用に関する対応の主な経過

厚生労働省年金局事業管理課
日本年金機構給付企画部

1. 障害認定の地域差に関する取り組み

(1) 専門家検討会の開催

- 本年2月より、精神・知的障害の認定について、「精神・知的障害に係る障害年金の認定の地域差に関する専門家検討会」を開催し、等級判定のガイドラインなどについて検討を行っているところであり、夏頃を目途に一定のとりまとめを行う。

【開催状況】	（開催日）	（主な議題）
第1回	2/19	意見交換
第2回	3/31	精神・知的障害に関する障害年金の認定事例について
第3回	4/24	関係団体からのヒアリング・等級判定のガイドラインの考え方について
第4回	5/22	等級判定のガイドラインの検討について

(2) 認定医の確保

- 都道府県ごとに認定医が障害認定業務に従事している状況を調査中であり、今後、都道府県ごとに認定医の確保目標を設定する。

(3) 認定医会議の開催方法の見直し

- 認定医が参加しやすいよう全国9ブロックで認定医会議を開催することとし、今年度は、精神・知的障害の認定について、専門家検討会の結果を踏まえて開催する。

2. 窓口対応の改善

- 不支給決定の処分通知に年金事務所の連絡先を明記し、医学的な診査の内容について説明を求められた場合には、年金事務所は事務センター等に照会した上でお客様に回答を行うよう、夏頃を目途に指示依頼を発出する。

3. 初診日証明が取れない場合への対応

- 現在、初診日を確認するために用いた参考資料について過去の事例を各都道府県の事務センターから収集・整理しており、秋頃を目途に事例集のとりまとめを行う。

4. 障害年金制度の周知

- 市町村などで障害年金制度の周知等を行うため、「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業」において、障害年金の請求手続きを促進するためのパンフレットや動画等を作成し、各市町村で国民年金業務に使用できるツールと合わせて、平成27年5月に厚生労働省ホームページで公開した。
- 知的障害者について、障害年金を受給していない理由のサンプル調査を進めており、夏頃を目途にとりまとめを行う。

5. 障害年金制度の運用に関する課題の把握

- 日本年金機構に寄せられている障害年金に関する「お客様の声」（平成26年4月～9月）について、集計を行った。
- 平成27年1月に実施した「職員意識調査」の障害年金の課題に関する質問への回答について、夏頃を目途に集計を行う。
- 平成27年4月～5月に実施した「外部調査機関を活用した窓口調査」のうち、障害年金に関する窓口職員のお客様への制度説明や事務取扱いの状況について、夏頃を目途に集計を行う。
- 平成27年7月、障害年金の課題等に関する機構本部職員と年金事務所職員の意見交換を行う。
- 今後、これらを通じて把握した障害年金制度の運用に関する課題について、対応方針を検討する。